

歯学教育モデル・コア・カリキュラムの訂正について

2011年3月31日付けで公表された「歯学教育モデル・コア・カリキュラム—教育ガイドライン—平成22年度改訂版」について、下記のとおり訂正がありますのでお知らせします。

記

頁	項目	誤	正
i	歯学教育モデル・コア・カリキュラムの改訂に当たって (14から15行目)	歯科医療全般に <u>関与すること</u> で必要性や緊急性の高い内容について、全体の量的抑制に留意しつつ、可能な範囲で改訂し、さらに専門的・・・	歯科医療全般 <u>の中</u> で必要性や緊急性の高い内容について、全体の量的抑制に留意しつつ、可能な範囲で改訂 <u>した</u> 。さらに専門的・・・
i	歯学教育モデル・コア・カリキュラムの改訂に当たって (21行目)	授業科目等の設定、教育手法や履修順序等は各大学が自主的に編成するもので <u>あり</u> 、卒前の研究室・・・	授業科目等の設定、教育手法や履修順序等は各大学が自主的に編成するもので <u>ある</u> 。卒前の研究室・・・
i	歯学教育モデル・コア・カリキュラムの改訂に当たって (27から28行目)	また、国民各位には <u>学生が参加して診療が行われる</u> という・・・	また、国民各位には、 <u>歯科医師養成のために学生が参加して診療が行われる</u> という・・・
vi	目次 (F-10-1)	成長発育期の <u>口腔・顎顔面</u> の診察	成長発育期の <u>口唇・口腔・顎顔面</u> の診察
7	図表の訂正		
8	平成22年度版・歯学教育モデル・コア・カリキュラム改訂概要 (5行目)	さらに近年の <u>医学教育</u> に対して社会から求められる事項及び全体の・・・	さらに近年の <u>歯学教育</u> に対して社会から求められる事項及び全体の・・・
12	A-3 歯科医師の責務	到達目標： <u>①</u> ・・・ <u>②</u> ・・・ <u>③</u> ・・・ <u>④</u> ・・・	到達目標： <u>*①</u> ・・・ <u>*②</u> ・・・ <u>*③</u> ・・・ <u>*④</u> ・・・
35	E-3-1) 歯と歯周組織の発生および構造と機能	*①歯の発生、発育および交換の過程を説明できる。 【構成成分とその変化および検査法を含む】	*①歯の発生、発育および交換の過程を説明できる。 【構成成分とその変化を含む】

頁	項目	誤	正
43	F-7-1) 保存修復実習	到達目標：・・・④コンポジットレジン <u>填塞</u> ・研磨が適切にできる。	到達目標：・・・④コンポジットレジン <u>充填</u> ・研磨が適切にできる。
48	臨床実習内容 水準1 2.治療・術式	水準1 [口唇・口腔・顎・顔面領域の疾患] ・ <u>口腔内消炎手術</u> 小膿瘍切開 [高齢者] ・ <u>口腔内状態の診察</u> [障害者] ・ <u>口腔内状態の診察</u>	水準1 [口唇・口腔・顎・顔面領域の疾患] ・ <u>口唇・口腔内消炎手術</u> 小膿瘍切開 [高齢者] ・ <u>口唇・口腔内状態の診察</u> [障害者] ・ <u>口唇・口腔内状態の診察</u>
	水準2 2.治療・術式	水準2 [口唇・口腔・顎・顔面領域の疾患] ・ <u>口腔内縫合処置</u>	水準2 [口唇・口腔・顎・顔面領域の疾患] ・ <u>口唇・口腔内縫合処置</u>
	水準3 2.治療・術式	水準3 [口唇・口腔・顎・顔面領域の疾患] ・ <u>口腔内消炎手術</u> 顎骨骨膜炎 ・ <u>口腔外消炎手術</u>	水準3 [口唇・口腔・顎・顔面領域の疾患] ・ <u>口唇・口腔内消炎手術</u> 顎骨骨膜炎 ・ <u>口唇・口腔外消炎手術</u>
48	水準4 2.治療・術式	水準4 [口唇・口腔・顎・顔面領域の疾患] ・ <u>口腔内消炎手術</u> 骨髄炎	水準4 [口唇・口腔・顎・顔面領域の疾患] ・ <u>口唇・口腔内消炎手術</u> 骨髄炎